

二級河川小本川筋ほか河川等維持修繕業務委託

特記仕様書

(適用範囲)

第1条 本特記仕様書は、二級河川小本川筋ほか河川等維持修繕業務委託に適用するものであり、本特記仕様書に定めのない事項については「土木工事共通仕様書（岩手県県土整備部）」（令和6年4月1日以降適用）に基づいて行なうものとする。

(業務目的)

第2条 本業務は、県管理河川、砂防及び海岸区域等において、管理上支障のある埋塞土砂の除去、除草、伐木等、出水時の応急作業（土のう積）、および管理施設の修繕等、維持管理上必要な業務を行なうことを目的とする。

(業務内容)

第3条 本業務の業務内容は以下のとおりとする。

- 1 管理上支障のある障害物等の除去、出水時による応急作業、および管理施設の修繕等について、監督職員が指示する業務を速やかに実施する。
- 2 監督職員の指示に基づき作業を実施した際は、実施の都度、作業人員、使用材料、作業時間、使用機械を記載した作業日誌、および使用した材料、施工状況が分かる写真を提出する。
- 3 作業指示は口頭による指示のほか、位置コミを介して行なうものとする。（位置コミに関しては別紙「位置コミ仕様書」による。）

(積算)

第4条 本業務は、上記の業務内容について、監督職員の指示に基づき実施するものであるため、実施内容、作業規模が積算内容と異なる場合がある。

- 2 監督職員の指示に基づき実施した業務については、国土交通省土木工事標準積算基準書及び岩手県土木工事標準積算基準書（以下「積算基準」という）に記載のある工種については積算基準により積算を行なうものとするが、特殊な現場条件下等により積算基準を適用することが不適当と認められる場合は作業人員、使用材料、使用機械等に基づき、監督職員と協議の上、設計変更の対象とする。

(事前調査)

第5条 支障木の伐採等、希少野生動植物への影響が懸念される作業を実施する際には、事前に町村の教育委員会の調査を受け、調査完了後に実施すること。

- 2 障害物（倒木・流木・ごみ等）処理にあたっては、周辺の環境等十分注意を払い実施すること。

(業務管理)

第6条 受託者は、あらかじめ技術者名、連絡系統図（夜間・休祭日含む）等を記載した業務計画書を提出するものとする。

2 作業終了後、別紙1及び別紙2に作業日報・写真・図面・数量等必要書類添付のうえ監督職員に提出し、確認を受けるものとする。また、写真管理は、使用した材料、および着手前、作業中、完成状況が分かるよう記録すること。

(協議調整)

第7条 本業務に関係する地域住民、漁協関係者等必要な関係機関と十分な協議調整を図り、円滑に業務を履行できるよう努めなければならない。

(位置コミの利用料)

第8条 本業務で利用する位置コミについては、当所が別途発注する業務と本業務で利用料を分割負担するものとする。

(交通誘導警備員の計上)

第9条 交通誘導警備員数については、以下のとおり計上しているが、道路管理者及び所管警察署との打合せの結果または条件変更に伴い員数に増減が生じた場合は、監督職員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

交通誘導警備員 B 20 人 昼間勤務（交代要員無し）

(その他)

第10条 業務に疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。

＜作業一覧表＞

[illegible]

注) 作業完了後、日報等と併せて提出するものとし、追記していくこと。
作業個別調書記載内容と整合を図ること。

<作業個別調書>

作業番号					
管理施設区分	河川・海岸・砂防・急傾斜				
対応区分	地元要望・異常気象対応・維持管理・その他(
河川施設名等	川・地区				
場所	下閉伊郡	町・村	字		
指示年月日	令和	年	月	日	(回目)
作業年月日	令和	年	月	日	～平成 年 日
作業内容					

日報集計				
【労務費】	延べ時間	延べ日数	適用	
世話役	h	日		
普通作業員	h	日		
実働労務を記載。ただし、重機・トラック運転(オペ)労務は運転経費に計上されているので記載しないこと。 (例) 世話役、普通作業員、特殊作業員、型枠工 等	実働延べ時間を記載 (例) 普通作業員2人で4h 実働した場合は、2人 *4n=8h	実働延べ日数を記載。 延べ日数=延べ時間/8hとする。	述べ時間根拠を記載 (例) 2人*4h=8h	
【機械経費】	延べ日数	適用		
(重機運転)				
(例)	0.28	日		
バックホウ	2t	日		
ダンプトラック	25t	日	述べ日数根拠記載	
トラック	使用重機・機械器具等を記載			
(その他)				
(例)				
草刈機	肩掛式	日		
チェーンソー		日		
【資材・材料】	規格	数量	適用	
(例)				
木杭	Φ120*1000	5本	既存カゴ押さえ〇〇本/mで配置	
異形棒網	D13*600	10本	〇〇kg	
使用資材・材料を記載			数量根拠・使用目的等記入	
【産業廃棄物関係】	規格	数量	適用	
(例)				
コンクリート	無筋			
コンクリート	鉄筋			
木根等		t	別紙マニフェストより、処理場、〇〇〇	
その他	産業廃棄物種類を記載		数量根拠、処理場、中間処理・最終処分等を記載	
【その他】				

注) 延べ日数の算出は8h/日とすること。

作業日報及び写真(作業前・作業状況・完成・材料検収等)を添付すること。

数量根拠がわかる資料として図面・伝票・数量計算書等必要書類を添付のこと。

作業一覧表と整合を図ること。

例

作業日報										
名称		〇〇業務委託					請 負 者		株式会社 〇〇	
年 月 日		令和 年 月 日		曜日	天候	晴	主任技術者		〇〇 印	
施工内容・場所		〇〇川 〇〇地内								
労務					作業内容	車輛・重機		器具及び備品		
	職種	氏名	時間	時間外		名称・車番	品名・規格	数量		
1	世話役	〇〇 〇〇	4.0		中流部の籠設置	2tダンプ	ふとん籠	2.0枚		
2	世話役		8.0		河床整正	バックホウ	蛇籠	4.0枚		
3	バックホウOP		8.0		ふとん籠2枚設置、蛇籠4本設置	バックホウ搬入	鋼杭(棒鋼25mm)	50.0本		
4	普通作業員		8.0				割栗石	9.5m3		
5	普通作業員		8.0				植生土のう	100枚		
6	普通作業員		8.0							
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
＜本日の作業内容・安全指示及び注意事項＞						特記事項・その他				
○河道の流側部の保護(法留め)・・・ふとん籠、蛇籠の設置										
バックホウ搬入時に法面を降るので、滑落転倒のないように慎重に運転すること。										
棒鋼杭を打ち込む際に手足を叩いたりしないように注意する。(作業相手に手順確認する)										

位置コミ仕様書

1. 概要

「位置コミ」は、画像や地図、図面を利用して、最新の情報を共有することができる掲示版システムであり、作業のフローは、5の使用概略図のとおりである。

なお、位置コミの利用にあたっては、インターネットに接続できるパソコン環境と、パソコン操作が必要条件となる。

2. パソコンに関する必要環境条件

パソコンを使用する上で以下の条件が必要となる。

分類	詳細
OS	Windows (Mac は不可)
ブラウザ	Internet Explorer9 以上
インターネット環境	接続できる事

3. 携帯電話に関する必要環境条件 (※携帯電話を利用する場合)

携帯電話を使用する上で以下の条件が必要となる。

分類	詳細
メーカー	Au、DoCoMo、SoftBank
GPS 機能	必要 (DoCoMo の GPS は使用不可)
カメラ機能	必要
メール機能	必要
インターネット接続	必要

4. 人員に関する必要条件

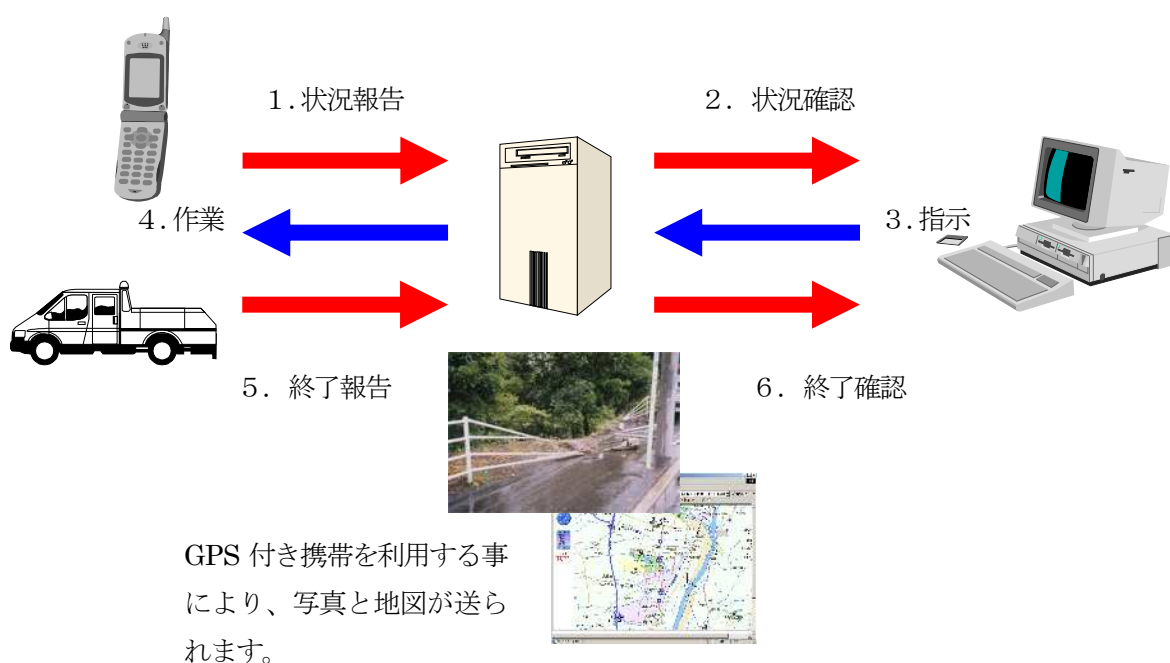
人員を確保する上で以下の条件が必要となる。

分類	詳細
条件 1	携帯電話で GPS 付き写真を撮影できる能力
条件 2	上記写真をメールできる能力
条件 3	デジタルカメラで撮影し、パソコンに保存できる能力
条件 4	携帯やデジカメの写真をインターネット上に投稿できる能力
その他	担当者が行えない場合、代わりに行える人員がいる事

5. 作業概要図

パトロール中に管理施設の破損等を発見した場合の一連の作業は以下の通りとなります。

- (1) 担当業者はパソコン又は携帯で状況を報告する。(写真やGPS 情報がある方が良い)
- (2) 管理者は状況の確認をパソコンで行う。必要に応じて現地を確認する。
- (3) 管理者は状況の確認後に作業に対する指示を電話やパソコンで行う。
- (4) 担当業者は指示された作業を行う。必要に応じて(事故対応など)作業状況を写真付メールで報告する。
- (5) 担当業者は終了の報告をメールで行う。
- (6) 管理者は作業内容の確認をパソコンで行う。



作業フロー図

